分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	332	文化・芸術の振興
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

概要

	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**文化・芸術のまちづくり事業**	一般	10	4	8	5,258,907	文化・スポーツ振興室

事業の概要

文化・芸術の一層の推進を図るため、文化イベントの開催及び運営支援を行います。また、「長岡京音楽祭」を、多様化する市民の文化・芸術ニーズへの充実を図るため見直し、市民の関心が高まる事業展開を図ります。

平成29年度の取組

D（取組）

指標		長岡京芸術劇場の事業数・入場者数				単位	事業 人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
平成28年度新規事業（参考：長岡京音楽祭 6事業　3,295人）	目標	14 8,500	16 9,500	18 10,500	20 11,500	22 12,500	
	実績	15 9,864人	20 17,591				

・市民に質の高い文化・芸術に触れる機会、参加する機会を提供し、市内で行われる文化・芸術活動が一体感をもって開催されることをめざし、平成28年度から「長岡京芸術劇場」として、新たな文化・芸術事業に取り組んでいます。
・年間を通して、長岡京芸術劇場実行委員会が主催する6公演に支援を行いました。
・５月３日には、市内の中学・高等学校等の吹奏楽団体による「駅前広場コンサート」を開催しました。
・市民も一体となった芸術劇場の取り組みを進めるため、市の関連事業以外でも、「長岡京芸術劇場」の一環としてロゴマークを使用して事業を実施してもらえるよう、申請制度を創設しました。

長岡京芸術劇場ロゴマーク

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成29年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・長岡京芸術劇場実行委員会が主催する公演、駅前広場コンサート、文化奨励事業補助金交付事業において、広報が一定浸透してきており、市民団体等が主催する事業においても、「長岡京芸術劇場」事業として開催されたイベントが増えたため、目標を達成することができました。
課題等	・長岡京芸術劇場として、文化・芸術公演をより一体感をもってＰＲしていくための仕組みが必要です。 ・長岡京芸術劇場実行委員会が主催する各種公演の集客が課題です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・「長岡京芸術劇場」のＰＲのため、市や市教育委員会に後援申請を行う団体等にチラシを配布するなどの取り組みを進めていきます。 ・各種公演の広報として、ホームページでの紹介やチラシの配架、ポスターの掲出等に積極的に取り組んでいきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	332	文化・芸術の振興
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

概要

P（概要）	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
	長岡京記念文化会館運営支援事業	一般	10	4	8	78,000,000	文化・スポーツ振興室

事業の概要

長岡京記念文化事業団に対し運営支援を行い、質の高い舞台芸術の提供と充実を図ります。また、京都府に対して長岡京記念文化会館の機能充実を求めます。

平成29年度の取組

D（取組）

指標		長岡京記念文化会館（ホール）入場者数				単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
97,405（平成26年度）	目標	98,500	99,500	100,500	101,500	102,000	
	実績	77,736	87,805				

・市ホームページにおいて「長岡京芸術劇場へようこそ」というページを作成し、各種事業の詳細を早期に一体的にPRするように取り組みました。

レ・フレールスペシャルコンサートの様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成29年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	達成状況
B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	・多くの公演では、客席が半数以上埋まっており、目標の９割近くを達成することができました。 ・前年度に引き続き、空調改修工事のため、４月～５月の一部の時期で、ホールが使用できませんでした。 ・使用可能日数内でのホールの利用率は、62.0%となっており、昨年度の63.5%と比較して微減しましたが、使用日数あたりの入場者数は、556人となり、昨年度の551人と比較して若干増加しました。

課題等

・長岡京芸術劇場実行委員会主催公演では、座席数1,000席に対して、4割～9割の集客となっていますが、平均的に7割以上の集客につなげることが課題です。

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・広報長岡京やホームページなどを活用し、見どころを分かりやすくPRするなど、集客につながるような広報活動を進めていきます。

分野	33	生涯学習･文化･スポーツ
施策	332	文化･芸術の振興
5年後の目標		ふるさとの文化･歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

概要

	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目				決算額(円)	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	**文化活動推進･支援事業**	一般	10	4	8	2,978,000	**文化･スポーツ振興室**

事業の概要

生涯学習や文化芸術への関心の増進と交流を図るため文化団体の文化･芸術活動を推進し、活動支援を行います。

平成29年度の取組

	指標	文化まつり等文化団体事業における参加者数(出品者･出演者･鑑賞者)					単位	人
	現　状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
D（取組）	9,505(平成26年度)	目標	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600	
		実績	9,752	7,758				

・長岡京市文化協会の運営や活動に対し、補助金を交付するとともに、事務局として、「名月の宴」、「市民文化まつり」、「長岡京展」等の開催支援を行いました。

市民文化まつりの様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成29年度の達成状況

		関連する評価指標		評価指標の傾向･トレンド	対応頁
C（評価）	評価指標	―		―	―
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・すべての事業を着実に実施できましたが、天候の影響で思うように集客が伸びず、鑑賞者数が減少しました。	
	課題等	・文化協会会員の高齢化に伴い、会員数の減少が危惧されます。 ・文化、芸術活動に携わる人が、固定化している傾向があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応

	方向性	対応策等
A（行動）	1:計画通りに進めることが適当	・新たな加入団体を育成するため、市民文化教室の開催や、文化講座の開催を支援します。 ・各事業ごとへの出展・出演・開催チラシの配布を早期に始めたり、直接依頼をするなど参加者や鑑賞者の増加に取り組んでいきます。

分野	33	生涯学習･文化･スポーツ
施策	332	文化･芸術の振興
5年後の目標		ふるさとの文化･歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
埋蔵文化財調査センター及びふるさと資料館の検討	一般	10	4	5	32,470,000 11,540	生涯学習課

事業の概要

蓄積された長岡京跡の発掘調査成果を整理及び研究し、その成果を広く展示、公開する場としての埋蔵文化財センターの今後と（仮称）ふるさと資料館基本構想に基づく整備検討を合わせて行います。

平成29年度の取組

D（取組）

指標	埋蔵文化財センターの啓発事業参加者数					単位	人
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
3,600（平成26年度）	目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
	実績	2,657	2,848				

・埋蔵文化財調査センターで常設展示、特別企画展「中世の村をたずねる」、埋文ミニ展示「写真で振りかえる35年」「井ノ内車塚古墳と井ノ内稲荷塚古墳」を開催し、入館者は述べ1,643人でした。
・小学５年生から中学生が対象の夏休み歴史教室「軒丸瓦を作ろう！」を開催しました。
・発掘調査現地説明会（２回）、文化財講演会（２回）、調査成果報告会、スライドでみる乙訓の発掘などを開催しました。
・乙訓の文化遺産を守る会やふるさとガイドの会などの依頼により、センター職員を講師として派遣しました。
・中学生の仕事体験学習の受け入れや小学生の発掘調査見学を行いました。
・埋蔵文化財センター設立35周年を記念した展示を行いました。
・埋蔵文化財センターの今後と（仮称）ふるさと資料館の整備について、庁内で公共施設の再編検討と合わせて情報共有を行いました。

右京第1158次調査現地説明会
（長岡第十小学校内）

施策の「5年後の目標」に対する評価

C（評価）

平成29年度の達成状況

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・啓発事業について、目標人数には到達しませんでしたが、夏休み歴史教室や設立35周年記念事業など時期に合わせた工夫を行うことで、昨年度より参加者数が増加しました。 ・埋蔵文化財調査センター来館者数についても、昨年度比494人増となりました。
課題等	・引き続き、学校、自治会（生涯学習推進委員）、市内団体などとの連携により、歴史・文化に関心のある層を増やす取り組みが必要です。 ・発掘調査で出土した文化財の収蔵スペースの確保や、調査・研究の成果、乙訓古墳群の情報を広く展示・公開する場の整備や機会の創出が必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・埋蔵文化財調査センターの今後と（仮称）ふるさと資料館の整備について、「整理作業・展示・保管」の３つの機能に分け、それぞれについて課題を整理し、公共施設再編の進捗に合わせて、実現可能な案を検討していきます。 ・埋蔵文化財調査センターの事業だけでなく、他機関が実施する事業についても連携を図り、歴史・文化の啓発活動を行っていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	332	文化・芸術の振興
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
史跡等整備・活用事業	一般	10	4	5	27,427,281	生涯学習課

事業の概要

平成26年度に開園した史跡恵解山古墳公園を広く市民が利用できるよう充実を図ります。また、平成27年度に国の史跡として指定された「乙訓古墳群」の公有化と整備を行い「悠久の都」としての長岡京市の認知度を高めます。

平成29年度の取組

D（取組）

指標	乙訓古墳群の利活用及び整備の進捗状況					単位	―
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
乙訓古墳群の国史跡指定（平成27年度）	目標	乙訓古墳群公有化着手	乙訓古墳群保存整備基本構想検討委員会設置	乙訓古墳群保存整備基本構想の検討	乙訓古墳群保存整備基本構想の検討	乙訓古墳群保存整備基本構想の策定	
	実績	乙訓古墳群公有化着手	乙訓古墳群公有化及び追加指定				

・乙訓古墳群保存整備基本構想検討委員会の設置を予定していましたが、国史跡の公有化と追加指定の条件が整ったため、その事業を優先しました。
・平成30年２月13日に長法寺南原古墳と、今里大塚古墳の北西周溝部分が乙訓古墳群に追加指定されました。
・井ノ内車塚古墳の公有化を実施しました。
・恵解山古墳保存・活用検討懇話会を開催し、恵解山古墳公園をどのように維持し、活用していくのかについて、関係団体や近隣の学校と意見交換しました。

恵解山古墳公園でのたけのこ掘り体験

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成29年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・乙訓古墳群保存整備基本構想検討委員会の設置には至りませんでした。 ・乙訓古墳群への追加指定、公有化によって史跡の保護を推進しました。 ・恵解山古墳公園の利用促進のため、懇話会において市民や学校とともに意見を交換しました。 ・恵解山古墳に残された竹林で小学生のたけのこ掘り体験が実施され、子どもの体験活動の場として利用されました。
課題等	・乙訓古墳群として国の指定を受けた５基の古墳のうち、整備活用されている古墳は恵解山古墳と今里大塚古墳のみであるため、今後は史跡の保護と同時に、未整備の古墳についてどのような整備を行い、活用していくか委員会等を設置して検討する必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
2：進め方の改善の検討が必要	・国指定の史跡となった古墳をどのように整備し、活用していくかを具体的に検討するため、土地所有者や学識経験者、地元住民、観光関係者などと保存整備基本構想検討委員会のあり方について協議をしていきます。

分野	33	生涯学習･文化･スポーツ
施策	332	文化･芸術の振興
5年後の目標		ふるさとの文化･歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
歴史資料活用･保存事業	一般	10	4	5	4,202,792	生涯学習課

事業の概要

歴史資料の損失･散逸を防ぐため、市内の未調査の歴史資料を収集･調査、保存･活用に取り組むと同時に調査済みの歴史資料の補充調査を行います。
また、中野家住宅の歴史資料の収集･整理･調査･保存を行うとともに、市民に対して収集した歴史資料及び調査成果を公開･活用します。

平成29年度の取組

D（取組）

指標	中野家住宅の所蔵資料の調査と公開					単位	―
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	31	32	
国登録有形文化財「中野家住宅」の寄贈（平成26年度）	目標	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調査報告書作成	中野家住宅の所蔵資料の公開	
	実績	中野家所蔵の歴史資料について、寄贈を受け、調査を開始し、保存処理を実施した	中野家所蔵の歴史資料について、調査を進めた				

・市内に伝来した歴史資料（中野種樹家文書・能勢久嗣家文書・石田政房家文書・樋口哲也家文書・石田賢司家文書・佐藤久夫家文書・高橋伸和家文書・寂照院文書・金剛力士立像像内納入品・版木・棟札など）について､収集･調査・整理及び保存・管理にかかる①現状把握・②クリーニング・③ナンバリング・④目録作成・⑤撮影・⑥複製物の作成・⑦ラベル添付・⑧害虫防除・⑨修理を実施しました。
・普及教育活動では、図書館1Fミニ展示や講座「ふるさとワーク」を開催しました。また、各種原稿の執筆や、市所有の歴史資料の貸出等も行いました。

調査の様子

施策の「5年後の目標」に対する評価

平成29年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向･トレンド	対応頁
	―	―	―

達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	・中野家伝来の歴史資料を調査した結果、中野家の来歴、特にその成立について明らかになりました。これまで、中野家の居住開始時期は不明で、茶屋であったと推測されていましたが､天明6年（1786）中野作右衛門家の分家として調子集落に居住したこと、染物・洗い張りをする悉皆屋、酒造小売の請酒屋を家業としていたことが判明しました。
課題等	・地域に伝わる歴史資料は、近年所蔵者の世代交代や価値観の多様化などによる、散逸・破損・劣化が危惧されています。また、地域の歴史・文化に対する市民の学習意欲は年々高まっており、歴史資料の積極的な活用が求められています。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・中野家所蔵をはじめとした歴史資料の公開、その成果をコンテンツとして活用できるよう、次年度以降も引き続き調査および適切な保存・管理を進めていきます。